

「泣かさないで登園」計画

孫は幼稚園年中の男子。時折登園をぐずり、夏休み明けは号泣しながら通園バスに乗っていた。

すると、「〇〇くんを泣かさないで登園させるプロジェクト」が出来た。メンバーは、孫が住むマンションの女性の清掃スタッフさ

ぷりざ

んたちだ。

私もしばしばマンション横のバス乗り場に顔を出したが、年配のスタッフさん4人の存在は、ばあばの励

ましよりも強力だった。

見送りの時間に現れると、バスが来るまでの数分間、孫に面白いことを言ってお笑わせてくれる。とにかく泣くスキを与えない。孫は、そのまま気分良くバスへGO。皆で両手を振り、「行ってらっしゃい」の大合唱！マンションのほかに子どもたちにも、「お帰りー」とハグするなど温か

く接してくださっている。「自分の孫みたくてかわいい」と言っていた。

おかげで孫は元氣よく登園できるようになった。大変感謝している。もう大丈夫だろう。でも念のため、プロジェクトチームは卒業まで解散しないでほしいな。

(神奈川県茅ヶ崎市・

山口美代子 58)

読む新聞

10月28日 朝刊 74